

河合塾・大竹先生による

## 先生方のための徹底入試対策講座

## 第17回 「失敗しない受験勉強」のために

「絶対に失敗しない受験」はありません（入試から「時の運」的要素はぬぐえないからです）が、「失敗しない受験勉強」は大切なことです。受験勉強がその後の人生の中でどのように位置付けられるかが、その人の受験勉強の本当の価値かもしれません。受験勉強のなかで得ること、やるべきことはいろいろあります。

**将来につながる基礎知識を確実なものにする、  
勉強の仕方や学び方を学ぶ、  
学びの中に感動を積み重ねる、**

.....

と考えると、受験勉強が受験そのもの以上に大切な人生の一部であることが感じられますね。

.....

年末が近づいたこの時期から、現役生（業界用語で高校生の受験生のことを言います）はうんと学力を伸ばす時期です。驚くほど学力をつける生徒が現れます。現役生だけではありません。これまで十分に勉強してこなかった？まだ「伸び代」のある高卒生（いわゆる浪人ですね。この浪人という語のもつ権力に媚びないイメージ？は格好良くて？？僕は好きです）も同様です。

これまでは、授業の予習復習や与えられた課題をこなすことで勉強してきたと思いますが、このころから入試直前期に向けて授業以外の自分ひとりでやる勉強も増えていきます。この勉強について3つの注意点があります。ひとつは

## 1 漫然とこれまでの復習をするのではない

ということです。復習は、満遍なく等質にやる必要はありません。今、自分には何が欠けているか、あるいは足りているか、という自分の分析の上に学ばなければならないものを学ばなければなりません。

自己分析が出来るということは、何かが分かっているとか分かっていないとかいうこと以上にある意味で大切なことです。

## 2 目的を意識して勉強する

目的といってもこの大学に入りたいとかいうことではありません。ひとつの問題集をやるとしたらその問題集をやる目的は？というような小さな目的のことです。

何かをするときには、その行動の目的が意識されているか否かで効果は変わります。スポーツのトレーニングを例に出さずともお分かりだと思います。

積分の計算に慣れていないからこの問題集の積分のところを計算を主体に考えてみよう、とか、時間感覚を身につけるために1問25分で6題続けて解いてみよう、とか、軌跡が十分に理解できていないから、軌跡の問題をやりつつ軌跡とは何かを考えてみよう、とか、いうように、目的を意識しながらですね。

## 3 時間がないからと言っていい加減にやらない

所詮時間は限られます。

勉強はいい加減にやってもなんら身につくものではありません。1やらなければならないところ、0.5やったところでそれはほぼ0に等しいということによくあります。着実にやったことだけが勉強です。やりたいことを全部やってから受験を迎えるのは理想的ですが、実際、まだあれもこれもと思っているうちに受験ということは少なくありません。やむを得ません。

**出来得る最大のことがベスト**

なんですね。